

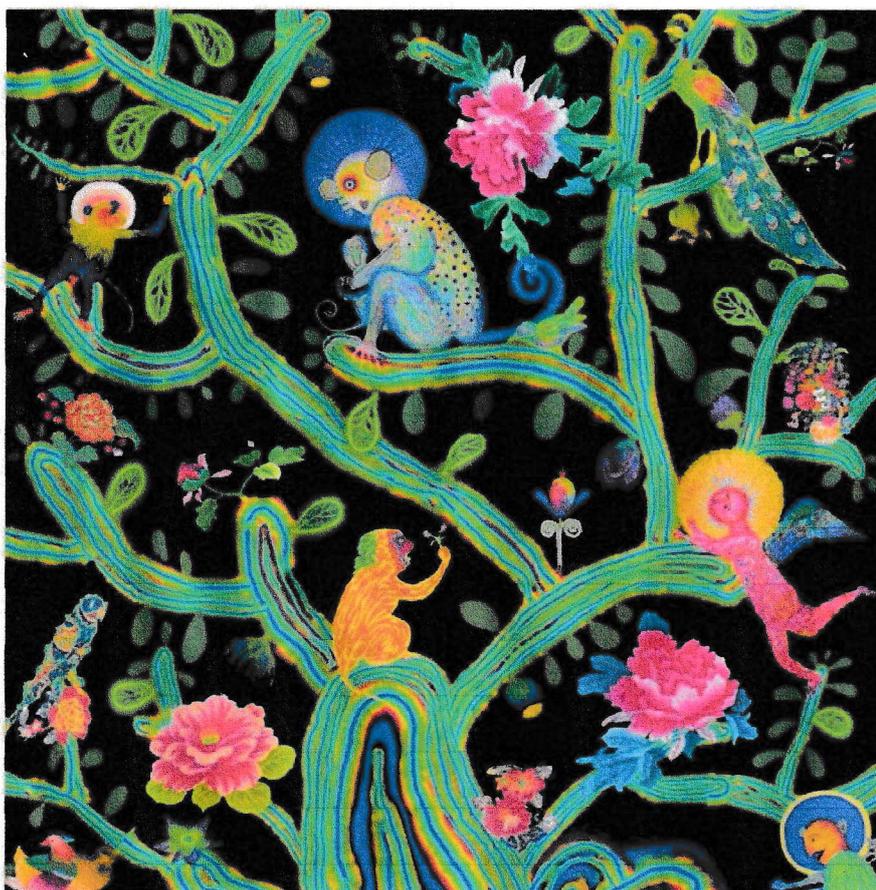
今回の個展は銀座の12坪ほどの小さな画廊で期間も2週間ちょっと（無休）と短いですが、チラシを作った。

都内、及び近県でこのチラシを置く場所の心当たりがあり、置く協力をしていただけるクルーがいたら置く場所を明記し協力願いたい。

光の筆。

1981年のことです。パソコンによって絵を描くことができるということを伝え聞いたわたしはたいへん興味を抱き、不自由な黎明期のデジタル画に果敢に挑みました。以来ソフトの進化とともに絵もどんどん進化しました。それから43年後のいま、若い世代においてはタブレットやスマホを駆使し、絵を描くことはごく当たり前の生活の一部となっています。そんな若い世代に老境にある私の描いたデジタル画を見せると「え、これがデジタル」と驚かれます。まあそれもそのはず、私はデジタル画の開祖、つまり「デジタル仙人」なのです。その技術の蓄積は半端なく、肉筆画に勝るとも劣らない、いや肉筆画には描けない豊穡な絵を描くことができるようになったと自負しています。藤原新也の隠れた一面です。そういったパソコンによる絵画のひとつの到達点を肉筆画も交え、このたびの永井画廊での個展「天国を下見する僕」でお見せしたいと思います。ちなみに油絵のように重い「物質の消費」から解放されたこの「光の筆」によって描かれた「ピクセル画」は、地球環境の破壊されつつある今、さわめてエコであるとともに、次世代のあるべきメディアだと思っています。そして実はこの「光の筆」はその重力のない軽さのゆえ、天国（あの世）を描くのに最も適した方法論でもあるのです。

藤原新也



「夜の猿」デジタル 1981年

2024
10/3
Thu.
—
19
Sat.

永井画廊

会期中無休 10時～18時（最終日16時まで）
東京都中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5階

天国を下見する僕

藤原新也展

10/5⁺
15:00～16:00

トークショー

[定員30名/申込先着順]

TELまたはメールで
お申込みください。定員になり
次第締め切らせて頂きます。

永井画廊

NAGAI Art Gallery